

公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館は、東京都とともに、オリンピック・パラリンピックが開催される東京を文化の面から盛り上げる「Tokyo Tokyo FESTIVAL」を展開しています。

文化でつながる。未来とつながる。

TokyoTokyo
FESTIVAL

東京都現代美術館

MOTコレクション

コレクションを巻き戻す

第1部：戦後美術のその前へ 第2部：現代美術館のスタートライン

2021年3月20日(土・祝) - 6月20日(日)

東京都現代美術館では、戦後美術を中心に、近代から現代に至る約5,500点の作品を収蔵しています。「MOTコレクション」展では、会期ごとに様々な切口を設けて作品を展示し、現代美術の持つ多様な魅力の発信に努めています。今回はコレクションの成り立ちに光をあてる2部構成でご紹介します。

第1部では、「東京府美術館」時代に始まるコレクションの歴史を紐解きながら*、明治時代に描かれた五姓田義松《清水の富士》(1880年頃)から戦後美術のはじまりまでを制作年代順に展示します。第2部では、1995年の東京都現代美術館開館に向けて収集された大型の海外作品を展示し、当館のスタートラインへと遡ります。コレクションを巻き戻すこと見えてくる、広い時代と地域にまたがる多彩な作品をお楽しみください。

*1995年の東京都現代美術館開館に際し、東京都美術館(1926年東京府美術館として開館、43年改称)が所蔵する3,000点余りの作品が移管されました。

※本展は前期(2020年11月14日(土)-2021年2月14日(日))の作品を一部のみ展示替えして構成しています。

出品予定作家

浅井忠、麻生三郎、恩地孝四郎、片谷腰子、桂ゆき、鹿子木孟郎、岸田劉生、北代省三、五姓田義松、駒井哲郎、田中敦子、鶴岡政男、中原實、福島秀子、牧野虎雄、松本竣介、間所(芥川)紗織、山口長男、吉原治良、デイヴィッド・ホックニー、エルズワース・ケリー、ロイ・リキテンスタイン、アンディ・ウォーホルほか(予定)

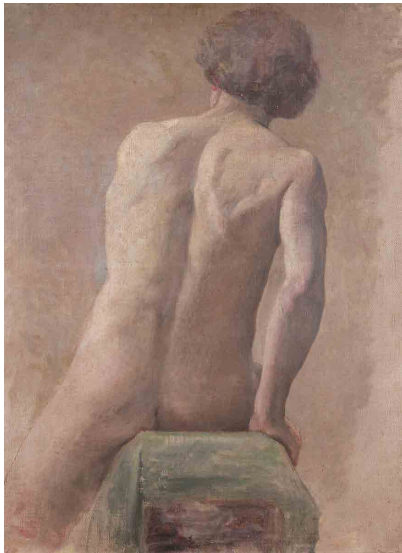
展覧会概要

会期	2021年3月20日(土・祝) - 6月20日(日)
休館日	月曜日(5月3日は開館)、5月6日
開館時間	10:00 - 18:00 (展示室入場は閉館の30分前まで)
観覧料	一般500円 / 大学生・専門学校生400円 / 高校生・65歳以上250円 / 中学生以下無料 ※企画展「ライゾマティクス_マルチプレックス」「マーク・マンダース - マーク・マンダースの不在」のチケットでMOTコレクションもご覧いただけます。
会場	東京都現代美術館 コレクション展示室 1F / 3F
主催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館
企画担当	事業企画課 事業係 水田有子、森千花

お問い合わせ

東京都現代美術館 事業企画課 企画係 広報班 中島・工藤
TEL: 03-5245-1134(直通) / FAX: 03-5245-1141
E-MAIL: mot-pr@mot-art.jp WEB: <https://www.mot-art-museum.jp>

※開催内容は、都合により変更になる場合がございます。予めご了承ください。



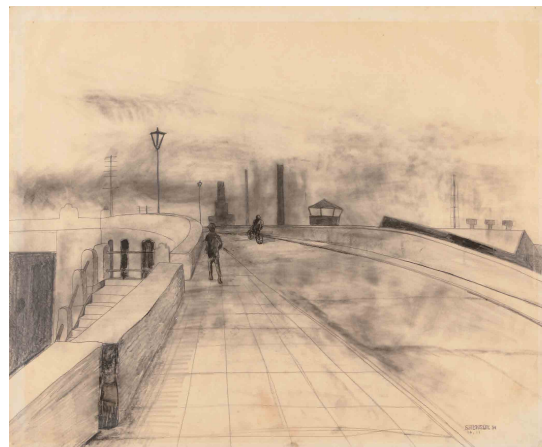
1. 久米桂一郎《習作》1889年



2. 鹿子木孟郎《大正12年9月1日》制作年不詳



3. 中原實《ヴィナスの誕生》1924年



4. 松本竣介《大崎陸橋B》1941年



5. 桂ゆき《抵抗》1952年

広報用画像として本リリースに掲載している画像をご用意しております。
ご希望の際はキャプションについている番号を、広報までお知らせください。

同時開催

「ライゾマティクス_マルチプレックス」、「マーク・マンダースーマーク・マンダースの不在」、「Tokyo Contemporary Art Award 2019-2021 受賞記念展」

お問い合わせ

東京都現代美術館 事業企画課 企画係 広報班 中島・工藤

TEL: 03-5245-1134 (直通) / FAX: 03-5245-1141

E-MAIL: mot-pr@mot-art.jp WEB: <https://www.mot-art-museum.jp>

※開催内容は、都合により変更になる場合がございます。予めご了承ください。